

2016年3月25日
クールジャパン機構
(株式会社海外需要開拓支援機構)

中東向け日本の「食」・「農」輸出促進支援のためのファンドへLP出資

クールジャパン機構は、みずほ銀行及び農林中央金庫が新たに組成したファンド「Gulf Japan Food Fund」に対し、40百万米ドルを上限とするLP出資を決定しました。

本ファンドは、日本の農林水産物輸出拡大ニーズと中東湾岸6カ国(注1)の食糧安全保障ニーズ等を金融面から支援することを目的としたプライベート・エクイティ・ファンドで、2016年3月3日に投資業務を開始しています。

クールジャパン機構は本ファンドを通じて、世界に誇る安全で高品質な日本の食品・農林水産物が中東の人々に深く浸透するとともに、それを生み出す日本の高度な最先端技術が中東のフードバリューチェーン構築に活用されることで、中東において広くジャパン・ブランドを発信できることを期待しています。

政府の「日本再興戦略」において2020年までの食品・農林水産物の1兆円の輸出目標が掲げられる中、食関連産業の輸出拡大に向けた具体的な仕組み作りが求められています。他方、中東各国では食糧安全保障の向上が大きな政策課題となっており、安全で高品質な食品に対する需要、あるいは域内における食品生産・加工の高効率化・高付加価値化に向けた技術支援需要が大きく存在します。

こうした中、みずほ銀行及び農林中央金庫は、日本の農林水産物輸出拡大ニーズと中東湾岸6カ国の食糧安全保障ニーズ等を金融面から支援することを目的としたプライベート・エクイティ・ファンド「Gulf Japan Food Fund」を組成し(注2)、アラブ首長国連邦ドバイに設立したみずほ銀行100%子会社の「Mizuho Gulf Capital Partners Ltd.」による運営の下、2016年3月3日に投資業務を開始しています。

本ファンドに対し、クールジャパン機構は40百万米ドルを上限とするLP出資を決定しました。また、中東側より「Gulf Investment Corporation (GIC)」、オマーンの政府系ファンドである「State General Reserve Fund (SGRF)」、「Oman National Investments Development Company (TANMIA)」からの出資が決定しています。

本ファンドは日本および中東湾岸 6 カ国を対象とする「食」・「農」関連事業（注3）において、日本企業と中東企業が連携のうえ、新たに設立する合弁会社への投資を通じて、当該事業の成長・促進を図ることを目的とするとともに、日本企業と中東企業をマッチングさせるプラットフォーム機能の発揮により、新たなアライアンスやパートナーシップから生み出される付加価値や市場の創造を目指します。

クールジャパン機構は本ファンドを通じて、世界に誇る安全で高品質な日本の食品・農林水産物が中東の人々に深く浸透するとともに、それを生み出す日本の高度な最先端技術が中東のフードバリューチェーン構築に活用されることで、中東において広くジャパン・ブランドを発信できることを期待しています。

[注釈]

注1) 中東の湾岸協力理事会に加盟する、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェートの計6カ国

注2) 本件に先立ち、2015年7月29日、両行は自ら株主としてGulf Japan Food Fund GP（英国領ケイマン諸島籍）を設立しています

注3) ①輸出入事業、②栽培事業、③加工事業、④流通事業、⑤販売事業、⑥食産業インフラ事業

[Gulf Japan Food Fund について]

営業開始日	2016年3月3日
ファンド総額	390百万米ドル
ファンド期間	コミットメント期間：営業開始日（2016年3月3日）から6年 ファンド期間：営業開始日から10年（2年の延長オプションあり）
主な投資エリア	中東湾岸6カ国及び日本
投資対象事業	食のバリューチェーンを構成する産業及び関連する産業 —輸出入、栽培、加工、流通、販売、食産業インフラの各事業 等
投資形態	エクイティ及びエクイティリンク型 （普通株式、優先株式等による出資）

中東向け日本の「食」・「農」輸出促進支援のためのファンドへLP出資

[本ファンドのスキーム]

